

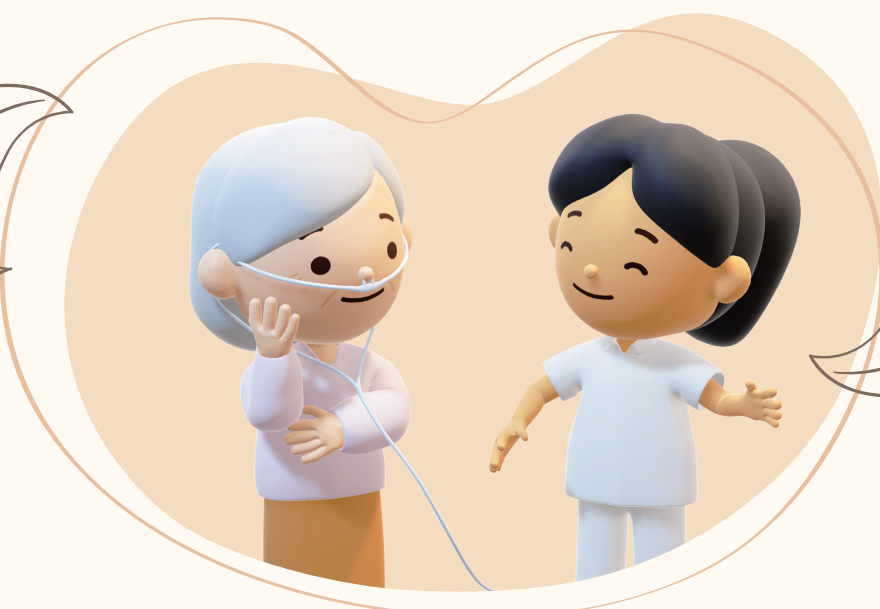
第106回日本呼吸器学会近畿地方会

第9回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会近畿支部学術集会

スイーツセミナー2

在宅酸素療法患者の セルフマネジメント支援

～看護師に求められるスキル～



2025.12.13 Sat. 14:30～15:20

📍 大阪国際交流センター 第7会場（銀杏）

〒543-0001 大阪市天王寺区上本町8丁目2-6

座長

竹川 幸恵 先生

大阪はびきの医療センター
慢性疾患看護専門看護師

演者

鬼塚 真紀子 先生

大阪はびきの医療センター
慢性呼吸器疾患看護認定看護師

共催：株式会社星医療酸器 / 武蔵医研株式会社

スイーツセミナー②

在宅酸素療法患者のセルフマネジメント支援 —看護師に求められるスキル—

地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪はびきの医療センター
鬼塚 真紀子

在宅酸素療法（Home Oxygen Therapy: HOT）は、慢性呼吸器疾患患者にとって生活の質（Quality of Life: QOL）を維持しながらその人らしい生活を継続するために欠かせない治療である。しかし、日常生活に酸素療法を取り入れるためには、安全な機器管理、外出や社会参加の工夫、不安や抑うつへの対応など、幅広いセルフマネジメント能力が求められ、患者にとって大きな負担となる場合がある。また、患者は HOT への煩わしさや依存感、ボディーイメージの変化、他者依存による自尊感情の低下など、心理的・社会的苦痛を抱えていることが多く、セルフマネジメントを阻害する要因も少なくない。とりわけ、高齢患者では認知機能低下や手技的困難さが見られ、機器管理面やソーシャルサポートなどの環境面での支援が重要となる。さらに、病状の進行や急変リスクを抱える患者にとって、セルフモニタリングと適切な療養法の選択は QOL と予後に直結する重要な課題となる。

したがって、看護師は、HOT 機器の説明にとどまらず、患者・家族が安全かつ安心してその人らしい療養生活を継続できるよう、患者の病態、レディネス、価値観、生活背景などに応じたテーラーメイドかつ柔軟な介入と心理的支援が求められる。

本セミナーでは、患者が日常生活に HOT を上手く取り入れ、アドヒアランスを維持しつつその人らしい生活を継続できるよう支援するために、看護師に求められるスキルを整理・提示する。具体的には、①患者・家族が納得できる情報提供のスキル、②呼吸状態・生活背景・レディネスを踏まえた HOT 機器・酸素投与器具の選択と酸素流量調整のスキル、③セルフモニタリングを中心としたセルフマネジメント能力を引き出す支援スキルなどを中心に紹介する。「生活と HOT をつなぐ支援の在り方」を考える場とし、日々の実践に活かせるヒントを共有したい。



在宅酸素療法施行中の
患者様向け療養日誌を
リニューアル！



星医療酸器グループ

URL <http://www.hosi.co.jp>

